

# 講演会

参加費  
無料

演題:

## 「エコ&オーガニックビジネスの可能性」

暮らしの分野でもパラダイムシフトが目に見える形で進んでいます。そのような中、早くからエコ・オーガニックビジネスに取り組み、今も最前線で活躍する七林氏を招いて、これからの地域における持続可能な農と暮らしを推し進めるための可能性と、倉敷及び近郊の地域ブランドづくりの今後を探ります。

講演内容

- 日本の食環境ビジネスの歴史と背景・マクロバイオテックとは・マクロ、ナチュラル、オーガニック食品市場(過去～現在～未来)・地域(文化)ブランドづくり ●生産+加工=一体型のビジネス展開を付加価値とした世界ブランドの発信!、マーケティング!・環境教育(食育)次世代を担う子供達教育の必要性。
- 福島でのプロジェクトと現状 ●2004年から現在迄継続している地域経済活性化プロジェクト(たなつもの)紹介。
- 2012年2月から開始するNPO法人 福島復興農業支援プロジェクト LEAFの現状説明

日時:平成24年2月25日(土)

受付13:00 開演13:30~15:30(終了)

交流会16:00~17:00

場所:岡山県備中県民局 会議棟1階(倉敷市羽島1083)

講師:七林養宣海氏(AMAJapan代表取締役)

1982年以来マクロバイオテック※(食養)の基本概念である身土不二(しんどふじ)を核に添え持続可能な地域経済活性化と地球環境プロジェクトの企画・開発・プロデュース、コンサルタント活動を国内外で展開している。

### マクロバイオテック

食生活法・食事療法の一つである。名称は「長寿法」を意味する。第二次世界大戦前後に食文化研究家の桜沢如一が考案した。食生活法は、「玄米菜食」「穀物菜食」「自然食」「食養」「正食」「マクロビ」「マクロ」「マクロバイオテックス」「マクロバイオテック」「マクロバイオテックス」とも呼ばれる。(ウィキペディアより)

主催・お問合せ:

元倉敷未来計画 事務局:(リスブ環境・都市建築研究所内)☎086-427-2111(担当:中村陽二)

元倉敷未来計画概要:(代表者 中村泰典 会員数10人)

鶴形山を中心とする旧倉敷町時代の中心市街地部分は元倉敷とも云われました。私たちは当時の町名復活や路地の再考などを通じて、これをモデルにかつての吉備地方の里山とその周辺に見られた自然や暮らし(農業・商業・手工業などの伝統的な生活環境や文化)を、循環型社会・低炭素社会・自然共生社会といった新たな指標をもとに現在から未来に繋げるまちづくり活動を行う市民活動団体です。